

再び、南極の地へ 梅田利郎さん



昨年12月から今年2月まで、南極にある昭和基地の建設現場で重機を動かす担当を担っていた国立極地研究所南極観測センターの梅田利郎さんが、第61次南極地域観測隊の夏隊の隊員として、再び、南極で活動することになり、11月11日、川野市長に表敬訪問しました。

九州大会に出場しました 小野心羽選手・酒井優菜選手



8月に開催された「第24回九州小学生選手権大会大分県予選会」で、ソフトテニス女子ダブルスで優秀な成績を収めた「つくみサンクラブ」の小野心羽選手と酒井優菜選手（ともに千怒小6年）が11月30日から大分県で開催された九州大会に出場しました。

市中心部のまちづくりを考える 津久見市ランドデザイン会議



11月14日、市民会館にて「津久見市ランドデザイン会議」が開催されました。市内で各分野において活動されている方が集い、市中心部の現状と課題の整理、今後10年間における将来像について考えることを目標に、活発な議論が交わされました。

秋季全国火災予防運動の取り組み



秋季全国火災予防運動の活動の一環として、和順幼稚園、白蓮幼稚園の園児・先生と消防職員で幼年消防クラブ防火パレードを行いました。この日、中央町の商店街通りを歩き、園児たちが「火の用心」の掛け声のもと、たくさんの人たちに、火災の予防を呼びかけました。また、保戸島でも防火パレードが行われ、海風の強い中、拍子木でカチッカチツと音を打ち鳴らし、漁船員休業施設から島内を回りました。ほかにも、マルシヨク津久見店にて、機能別女性消防団員等による防火チラシやティッシュの配布を行いました。

全国大会へ出場します 俊空塾 工藤真子選手



10月に開催された「第22回大分県中学校新人空手道競技大会」の結果、工藤真子選手（津久見第一中1年）が1年女子個人組手の部で優勝を飾り、来年3月28日から埼玉県で開催される全国大会へ出場します。10月30日、川野市長に全国大会へ向けての抱負を述べました。

九州大会に出場 松下琴春選手・小松由奈選手



10月に開催された「第6回なでしこMIYAZAKIカップサッカー大会 大分県大会」で優勝を果たした、小学生の女子サッカーチーム「Team南大分」に所属する松下琴春選手と小松由奈選手（ともに千怒小6年）の2人が11月に宮崎県で開催された九州大会に出場しました。

数々の作品やステージが彩る 津久見市文化祭



11月8日から10日の3日間、市民会館で「第49回津久見市文化祭」が開催されました。俳画や書道、俳句、川柳などの「展示の部」に10団体、笛や琴、バンド、カラオケ、パレエなどのステージ発表を行う「芸能の部」に16団体が参加し、繊細な作品の展示や練習の成果を披露しました。

地域で守る避難訓練を実施 津久見高校・中田区合同避難訓練



11月5日、県民防災アクションデーの一環として、津久見高校と中田区の地元住民の方で大津波による災害を想定した合同避難訓練を実施しました。生徒たちは、駆け足で避難場所に逃げるとともに、要配慮者の方が乗った車いすを押しながら、一緒に避難するよう、訓練に臨みました。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

地域福祉や子育て支援の充実に向けて



11月7日、複雑化した課題を抱えた世帯や地域の困りごとを「まるごと」受け止め、適切な支援につなげていけるよう、専門機関や市関係課から構成する「つくみ福祉まると支援協議会」の発足式が開催され、第1回目を迎えた今回は、約40名の協議会の委員が集まり、大分県こころとからだの相談支援センターの土山幸之助所長に大分県のひきこもり状況と支援内容について、説明していただきました。今後、各専門機関とのネットワークや連絡体制をより密接にし、困りごとを抱えた人の状況に応じた適切な支援につなげていきます。

11月13日、市内の幼稚園や保育園、認定こども園、こども発達支援事業所で働く保育士や幼稚園教諭の方、市の保育士等が集まり、津久見での子育てのことを語り合う「第1回つくみ子育てカフェ」が開催されました。

今回は、各グループに分かれ、自己紹介や自身の職場や仕事のこと、子育てに関する身近なことを気軽に話し合いました。今後も、同じ仕事や目標を持つ人たちのつながりを大切にし、より良い子育て支援に結びつけていきます。



***** 津久見市社会福祉大会 *****



10月31日、「第28回津久見市社会福祉大会」が市民会館大ホールで開催され、社会福祉の推進に貢献された方々が表彰されました。今年は、津久見市長表彰に40名、津久見市社会福祉協議会会長表彰に8名と1団体が表彰され、この大会を契機に、ひとりひとりがお互いに支え合うことを日々の暮らしの中から心がけ、更なる地域福祉の推進に取り組むことを誓うことが宣言されました。

100歳のお祝い 矢内キツエさん(11月9日生)



11月9日に誕生日を迎えられた矢内キツエさんを訪問しました。長生きの秘訣は、かんころ(芋)を食べて育ったことで、健康には食べることが重要であることも教えてくれました。現在は、施設で慣れ親しんだ皆さんと遊ぶことが楽しみだそうです。これからもお元気で過ごされることを祈っています。

九州大会 準優勝 津久見市身体障害者福祉協議会



10月25日に佐賀県で開催された「第13回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会」で九州各県から全28チームがグラウンド・ゴルフの腕を競い合い、津久見市身体障害者福祉協議会の津久見Aチームが見事、準優勝に輝きました。10月31日、市役所を訪れ、川野市長に九州大会での健闘を報告しました。

みんなで力を合わせて 第50回市長杯争奪ゲートボール大会



11月12日、「第50回市長杯争奪ゲートボール大会」が開催されました。記念すべき50回目となった大会は、市内から全6チーム、約30名が参加し、各チームが力を合わせて競技した結果、接戦の末、千怒崎チームが優勝を飾りました。

各コートで熱戦を繰り広げる ソフトバレーボール 九州交流大会



11月10日、「第68回大分ソフトバレーボール倶楽部九州交流大会in津久見」が市民体育館で開催されました。津久見市のソフトバレーボールチームを始め、県内各地や福岡県、宮崎県からの参加団体も含め、全46チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

仮装した子どもたちがお菓子を片手に 津久見まちなか ハロウィンパーティー



10月31日の「ハロウィン」にあわせて、中央町の商店街やフラワーロードを中心に、ハロウィンパーティーが開催されました。かわいく仮装した子どもたちは、参加店舗で「トリックオアトリート!」と声をかけると、お菓子をもらうことができ、とても嬉しそうな表情を浮かべていました。